

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

②事業者情報

名称: 所沢市立きぼうの園	種別: 就労継続支援B型
代表者氏名: 遠藤 里香	定員(利用人数): 35 (32) 名
所在地: 〒 359-0004 所沢市北原町937-1	TEL 04-2995-2851

③総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>(1) 【経営課題】 3 経営状況や改善すべき課題については、理事会や管理職会議で協議し職員会議等で周知しています。大きな課題として利用者の高齢化問題がありますが、利用者との面談などを家族と行い、利用者が継続して通所できる方法を相談事業所や関係機関と連携し調整しています。他方、工賃UPも重点課題として取り組んでいます。</p> <p>(2) 【事業計画】 6 事業計画は、先ず管理者により原案が作成され、その後、職員会議に於いて計画の説明や施設運営の周知を行い、職員の意見の反映の元に集約されています。事業計画は、定期的(年2回)に評価・見直しを実施し、PDCAの改善サイクルが展開されています。又、事業計画は、年に2回の保護者会や個別面談等で計画の内容や職員体制、行事等を利用者向けに策定した資料に基づいて、説明を行っています。</p> <p>(3) 【地域との関わり】 23 地域との関わり方については、理念・基本方針にも触れられており、基本的な考え方を文書化しています。リサイクル作業活動(古紙やアルミ缶回収)は、地域の方とのコミュニケーションの場となっています。又、市民フェスティバルへの出店や、市主催の作品展などの行事に積極的に参加する事で、利用者地域との交流を広げています。学校教育への協力として、出前講座や車椅子講座等も行っています。</p>
<p>◇特にコメントを要する点</p> <p>(1) 【理念・基本方針】 1 理念・基本方針は事業所内外の文書に記載されており、所内掲示もされていますが、利用者や家族向けの文書も含め、各々の記載内容に差があり一元的にこれが施設としての理念・基本方針であると分かり難くなっているのではないのでしょうか。様々に表現の工夫がなされた結果、逆効果になってしまっているとも思え、再度、整合性のある表現にまとめられたらと感じます。</p> <p>(2) 【実習生の受入れ】 20 実習担当者の配置・オリエンテーションの実施等、受入れ体制を整備していますが、実習生受入れに関する基本姿勢の表明やマニュアルが準備されていません。実習プログラムは専門職種の特性に配慮したものになっており、実習内容についても、学校側と継続的に連携して運営しています。</p> <p>(3) 【プライバシー保護】 29 個人情報保護に関しての規程・マニュアルは策定されていますが、利用者のプライバシー保護や虐待防止等の権利擁護に関しての規程やマニュアルは整備されていません。しかし、職員は利用者のプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務は備えており、日常の業務を遂行しています。</p>

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、福祉サービス第三者評価の受審をいただき、経営面・職員管理面・利用者サービス等の視点から運営を見直すことができました。評価のご指摘にもありますように、各文書の表現に整合性を持たせること、未整備のマニュアルを作成する等については改善に努めます。さらに、今回の評点を職員間で共有し、福祉サービス向上に繋げていきたいと思えます。今後も、ご利用者様及びご家族の皆様との信頼関係を保ちながら、各関係機関と連携しつつ、より良い福祉サービスの提供に取り組めます。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙